

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B1)

(11) 特許番号

特許第6188266号
(P6188266)

(45) 発行日 平成29年8月30日(2017.8.30)

(24) 登録日 平成29年8月10日(2017.8.10)

(51) Int.Cl. F 1
F 1 6 B 13/04 (2006.01) F 1 6 B 13/04 B
F 1 6 B 13/08 (2006.01) F 1 6 B 13/08 B

請求項の数 4 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2017-76455 (P2017-76455)	(73) 特許権者	000167211
(22) 出願日	平成29年4月7日(2017.4.7)		イイファス株式会社
審査請求日	平成29年4月14日(2017.4.14)		北海道北広島市大曲工業団地1丁目2番地6
早期審査対象出願		(74) 代理人	100110766 弁理士 佐川 慎悟
		(74) 代理人	100133260 弁理士 小林 基子
		(74) 代理人	100169340 弁理士 川野 陽輔
		(74) 代理人	100195682 弁理士 江部 陽子
		(74) 代理人	100206623 弁理士 大窪 智行

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 石膏ボード用アンカー

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外周に雄ねじが設けられた軸部と、この軸部の先端に形成された穿孔部と、前記軸部の後端に形成されたフランジ部と、前記フランジ部の端面に形成された回転工具の係合穴と、この係合穴に連続して形成された雌ねじ形成孔とを有しており、前記雌ねじ形成孔に取付用ビスをねじ込んで装着するように構成されている石膏ボード用アンカーであって、

前記穿孔部が先細の四角錐状に形成されるとともに、当該四角錐状穿孔部の対角線方向または対辺の中心位置を通る方向に沿って前記四角錐状穿孔部の先端面から前記軸部の途中まで延びる拡開スリットが設けられていて、前記軸部が分割軸部として形成されるとともに、当該分割軸部の先端部分には前記四角錐状穿孔部を分割して形成された分割穿孔片が連設されており、かつ、これら各分割穿孔片に先端から所定間隔を隔てて二以上の屈曲溝が設けられており、

前記分割穿孔片の先端面を石膏ボードの裏側にある壁面に当接させながら下穴をあける際に、前記壁面からの反力によって相対向する前記各分割穿孔片が屈曲溝で折れ曲がりつつ反対方向に拡開変位するように構成されている、前記石膏ボード用アンカー。

【請求項 2】

二以上の前記屈曲溝は、前記分割穿孔片における角状縁部の先端側よりも後端側の方がより深い溝に形成されており、前記分割穿孔片の各溝底部の厚さがほぼ等しい寸法となるように構成されている、請求項 1 に記載の石膏ボード用アンカー。

【請求項 3】